**平成 29 年度名古屋大学国際プログラム群学部学生募集要項**
**（10 月入学）**

平成 29 年度名古屋大学国際プログラム群（英語による教育で学位が取得できる教育プログラム）の学部学生（外国人留学生及び帰国子女等）を下記により募集します

アドミッションポリシー

アドミッションポリシーについては，「全学のアドミッションポリシー」を参照してください。
（http://www.nagoya-u.ac.jp/2012website/admission/pdf/admission-policy.pdf）

## Ⅰ．出願資格

本プログラムに出願することができる者は，次のいずれかの出願資格を有する者とします。

1．**外国人留学生**：日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）であって，下記の i から iii のいずれかに該当するもの

i. 中等教育における最終 3 学年のうち 2 学年以上，主として日本語以外の言語による教育を受けている者であって，かつ以下の a～f のいずれかに該当するもの

a. 外国において，学校教育における 12 年の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれる。）を修了（卒業）した者及び平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに修了（卒業）見込みの者，又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 【注１】

b. 平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに，スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を取得し，18 歳に達するもの

c. 平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに，ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を取得し，18 歳に達するもの

d. 平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに，フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を取得し，18 歳に達するもの

e. 平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに，グレートブリテン及び北アイルランド連合王国の大学入学資格として認められているジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA レベル）資格を取得し，18 歳に達するもの

f. アメリカ合衆国カリフォルニア州に主たる事務所が所在する団体であるウエスタン・アソシエーションション・オブ・スクール・アンド・カレッジズ（WASC），同国コロラド州に主たる事務所が所在する団体であるアソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル（ACSI）又はグレートブリテン及び北アイルランド連合王国ハンプシャー市に主たる事務所が所在する団体であるカウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ（CIS）の認定を受けた学校（**参考資料 1**）に置かれる 12 年の課程を修了した者及び平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに修了見込みの者で，平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの

ii. 外国の教育制度において，12 年の課程を修了したと同等以上の学力を有するかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定に合格した者で，平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの
*上記出願資格にて出願しようとする者は，Ⅱの出願要件に加えて，国家試験等の統一試験の成績の提出を必須とする。

iii. 上記の i ～ ii のいずれにも該当せず，本学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの【注２】（ただし，外国の学校教育制度に基づく教育機関において，最終 3 学年のうち，2 学年以上，主として日本語以外の言語による教育を受けている者）

【注１】（１）「12 年の課程」は，大学入学前までに 12 年の初等中等教育を受け(就学前教育を除く)，かつ当該国における大学に入学する資格を得ることができる課程を指します。
（２）「これに準ずる者で文部科学大臣の指定した者」には，次のものが含まれます。
a. 外国において高等学校に対応する学校の課程を修了した者で，文部科学大臣が別に定める

ところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し，かつ，平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの

b. 我が国において，高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 12 年の課程を修了したとされる者に限る。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設の当該課程を修了した者で，平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの

c. 我が国において，高等学校に対応する外国の学校の課程（その修了者が当該外国の学校教育に おける 12 年の課程を修了したとされるものを除く。）と同等の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設の当該課程を修了した者で，文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了し，かつ，平成 29 年（2017 年）9 月 30 日までに 18 歳に達するもの

*詳細は，**X．問い合わせ先**にご確認ください。

【注２】　上記ⅲの個別の入学資格審査にて出願しようとする者は，各募集区分出願開始の１ヶ月前までに名古屋大学国際入試係国際アドミッションオフィスに申し出て，所定の申請手続きを行ってください。

２．**帰国子女等**：日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者であって，上記１外国人留学生と同じ出願資格を満たすもの

## Ⅱ．出願要件

**Ⅰ.**の出願資格を満たした上で，次のすべての要件を満たす者

１．　高等学校等で優秀な学業成績を修めたもの。
なお，成績評価基準がある場合は必ず提出すること。
また、過去の合格者の入試データはホームページ上で確認できます。

２．英語以外を第一言語として教育する高等学校において教育を受けている者にあっては，**参考資料 2** の英語検定試験における要件のいずれか一つを満たしていること。ただし，英語を第一言語として教育する中・高等学校において併せて 4 年間以上の教育を受けた者は，英語検定試験の試験結果の提出を免除します。

## Ⅲ．募集人員（すべてのプログラムにおいて帰国子女等の募集も含みます。）

| プログラム名 | 学　部 | 募集人員 |
|---|---|---|
| 自動車工学プログラム | 工学部（機械系） | 若干名 |
| | 工学部(電気電子情報系) | |
| 物理系プログラム | 理学部 | 若干名 |
| | 工学部 | |
| 化学系プログラム | 理学部 | 若干名 |
| | 工学部 | |
| 生物系プログラム | 理学部 | 若干名 |
| | 農学部 | |
| 国際社会科学プログラム | 法学部 | 若干名 |
| | 経済学部 | |
| 「アジアの中の日本文化」プログラム | 文学部 | 若干名 |

【注】第１志望とするプログラム名（学部名）を上記から選択してください。
第２志望プログラムを選択する場合は，下表に記載があるプログラムの組み合わせから選択することができます。

例：第１志望プログラムを自動車工学プログラム（工学部：機械系）とした場合は、第２志望プログラムは、物理系プログラム（理学部)、物理系プログラム（工学部）のいずれか１つのプログラムを志望することができます。

| 第１志望プログラム | 選択可能な第２志望プログラム |
|---|---|
| 自動車工学プログラム（工学部：機械系） | 物理系プログラム（理学部）<br>物理系プログラム（工学部） |
| 自動車工学プログラム（工学部：電気電子情報系） | 物理系プログラム（理学部）<br>物理系プログラム（工学部） |
| 物理系プログラム（理学部） | 物理系プログラム（工学部）<br>化学系プログラム（理学部） |
| 物理系プログラム（工学部） | 物理系プログラム（理学部）<br>化学系プログラム（理学部） |
| 化学系プログラム（理学部） | 物理系プログラム（理学部）<br>物理系プログラム（工学部）<br>化学系プログラム（工学部） |
| 化学系プログラム（工学部） | 物理系プログラム（理学部）<br>物理系プログラム（工学部）<br>化学系プログラム（理学部） |
| 生物系プログラム（理学部） | 物理系プログラム（理学部）<br>化学系プログラム（理学部） |
| 生物系プログラム（農学部） | 物理系プログラム（理学部）<br>化学系プログラム（理学部） |
| 国際社会科学プログラム（法学部） | 第２志望は選択できません |
| 国際社会科学プログラム（経済学部） | 第２志望は選択できません |
| 「アジアの中の日本文化」プログラム（文学部） | 第２志望は選択できません |

## Ⅳ．選考基準

名古屋大学国際プログラム群は，世界中から集まった学生と多様性のある環境で学ぶことで，国際的に活躍できる人材を育成するため，次の学力や学力以外の様々な項目に基づき，総合的に選抜を行います。

１．高等学校における学業成績

２．各種試験の成績

国家試験等の統一試験（**参考資料４およびホームページ参照**）を受験している場合は，その成績

（出願にあたっての必須書類ではありませんが，これらの試験を受験することを強く推奨します。）

３．学術分野での優秀な成績

４．学術分野における特別なプロジェクトにおける優秀な研究成果

５．日本語，日本文化コースを履修した場合，その科目数と学業成績
６．特異な才能，実績，褒賞等
７．小論文の内容
８．面接での評価

## Ⅴ．出願手続

１．出願期間：下記の出願期間中に，出願書類を提出し，検定料を支払ってください。

＜自動車工学・物理系・化学系・生物系プログラム（工学部・理学部・農学部）＞

| 募集区分 | 自 | 至 |
|---|---|---|
| １次募集 | 平成 28 年（2016 年）12 月 1 日 9：00（日本時間） | 平成 28 年（2016 年）12 月 26 日 16:00（日本時間） |
| ２次募集 | 平成 29 年（2017 年） 2 月 1 日 9：00（日本時間） | 平成 29 年（2017 年）2 月 22 日 16:00（日本時間） |

＜国際社会科学プログラム及び「アジアの中の日本文化」プログラム（法学部・経済学部・文学部）＞

| 募集区分 | 自 | 至 |
|---|---|---|
| １次募集 | 平成 28 年（2016 年）12 月 1 日 9：00（日本時間） | 平成 28 年（2016 年）12 月 26 日 16:00（日本時間） |

【注】（１）各年度につき１回のみ出願可能です。
（２）国際社会科学プログラム及び「アジアの中の日本文化」プログラムは，２次募集は行いません。
（３）検定料の支払いがなかった場合，出願者としてみなしません。
（４）検定料を支払っていた場合でも，書類不備があった場合は、選考の対象となりません。ただし，１次募集で出願した際の志望プログラムが２次募集を行う場合，２次募集締切までに必須書類が揃えば，選考の対象となります。
（５）上記（４）の場合は，その取り扱いをしたことをオンラインアドミッションシステムにてお知らせします。

２．検定料の支払い及び出願書類提出方法
出願に当たっては，指定の方法に従って必要書類を提出し，検定料の支払いを締切日までに行ってください。書類作成の際には，表下にある【注】に留意してください。

<検定料支払い方法>
検定料：5,000 円
オンラインアドミッションシステムから，PayPal（推奨）または銀行送金で支払ってください。
なお，検定料は，出願書類受領後の書類確認，選抜等のためのものであり，いったん大学に納入された検定料は返還しません。また，検定料の振込み手数料は振込者負担となります。

<出願書類>
１．以下の出願書類全てを，出願期間中にオンラインアドミッションシステムにアップロードして提出してください。
オンラインアドミッションシステム：URL: http://admissions.g30.nagoya-u.ac.jp
２．第 1 次選考に合格した出願者は、以下の表で定める原本*を郵送してください。
原本の提出締切日は別途Ⅵ.3 で定めます。
郵送先：〒464－8601　名古屋市千種区不老町　名古屋大学　国際入試係
国際アドミッションオフィス（国際開発棟 1 階 105 室）

原本は締切日まで受付可能ですが、指定期日（VI.3）までに原本が提出されない場合には，第 2 次選考対象者から除外されます。また、オンラインアドミッションシステムで提出された書類と郵送で提出された原本に，不正とみなされる差異が見つかった場合も，第 2 次選考対象者から除外されます。

| | 出 願 書 類 等 | 注　　意　　事　　項 | *原本<br>第 1 次選考合格後に提出 |
|---|---|---|---|
| i | 志願票 | 本学オンラインアドミッションシステムより提出してください。 | |
| ii | 日本の高等学校に相当する学校の卒業（修了）証明書（見込証明書） | 証明書（見込証明書）には，学校の公印，もしくはサインが必要です。<br>＊出願資格に関連する証明書を提出してください。<br>名古屋大学所定の様式はホームページからダウンロード可能です。 | ○ |
| iii | 学業成績証明書 | 成績証明書には，学校の公印，もしくはサインが必要です。<br>直近の２年間またはそれ以上の期間の成績を提出してください。<br>中等教育終了後に国家試験等の統一試験を受けている場合は，その成績も合わせて提出してください。 | ○ |
| iv | 国家試験等の統一試験成績評価証明書 | 国家試験等の統一試験を受験している場合は，その成績評価証明書を提出することを強く推奨します。テスト実施機関より締切日までにオフィシャルスコアが直接届くように手続きをしてください。(名古屋大学国際プログラム群の機関コードは，SAT に対しては 6535，ACT に対しては 5480 です。)<br>＊出願資格 ii により出願しようとする者は，国家試験等の統一試験の結果の提出が必須です。国家試験等の統一試験の例は，ホームページ上で公開しています。<br>＊各プログラムの，各種試験における受験推奨科目を，**参考資料 4** にて確認してください。<br>＊オンラインアドミッションシステムで提出する際には、スコアと名前が同時に確認できるもの（オフィシャルスコアのコピーまたは、WEB 上で確認できる自身のスコア）を提出してください。 | ○ |
| v | 英語資格試験の成績通知書 | 英語資格要件を満たす成績通知書を提出してください。(**参考資料 2** を参照してください。)<br>テスト実施機関から，締切日までにオフィシャルスコアの原本が直接届くよう手続きをしてください。(名古屋大学国際プログラム群の機関コードは，TOEFL については 7256 です。IELTS については原本郵送のみ受け付けます。)<br>＊なお，すべての試験において，平成 27 年(2015 年)1 月以降に受験した試験のスコアのみを有効とします。<br>＊オンラインアドミッションシステムで提出する際には、スコアと名前が同時に確認できるもの（オフィシャルスコアのコピーまたは、WEB 上で確認できる自身のスコア）を提出してください。<br><br>英語を第一言語として教育する中・高等学校において併せて 4 年間以上の教育を受けた者はこれを免除しますが，それを証明する書類**（例：名古屋大学所定様式の卒業見込み証明書）**を提出すること。 | ○ |
| vi | 小論文 | ２つのテーマについて，それぞれ英語で，WORD 形式で作成し（400～500 words），オンラインアドミッションシステムにアップロードして提出してください。<br>＊小論文のテーマは，募集要項巻末に「Essay Question」として掲載してあります。 | |
| vii | 評価書 2 通 | 下記の要件を満たす評価者 2 名の評価書を a.オンライン（推奨），又は b.郵送で評価者が厳封の上直接本学に提出してください。<br>【評価者の要件】<br>評価者のうち 1 名は志望する専門分野に関連する教員（推薦者 A），もう 1 名は人物評価ができる教員もしくはカウンセラー（推薦者 B）である | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | | こと。評価者は，公的に認可されている学校に勤めている教員またはカウンセラー（推薦者 B のみ）で志願者を指導している（た）者に限ります。親戚や友人，同僚や塾の先生などからの評価書は受け付けません。<br>推薦者 A に関する科目要件は**参考資料 3 を確認してください。**<br>【提出方法】<br>a. オンライン<br>志願者がオンラインアドミッションシステムの志願票. Information of Referees に評価者の e-mail address を入力すると，自動的に本学システムから評価者に e-mail が届きます。評価者は，e-mail の案内に従って評価書を提出してください。<br>b. 郵送<br>評価者がシステムを使用せず評価書の郵送を希望する場合は，評価書記入用紙（Confidential Academic Reference for 2017 Admissions）をホームページからダウンロードし，自身の情報を書き入れて，用紙を評価者に渡してください。評価書は評価者によって厳封される必要があります。評価者は案内に従って用紙の記入，及び署名をし，別途作成した推薦状を同封して，郵送してください。 | |
| viii | その他アピールできる点に関する書類 | Ⅳ.３～６に当てはまる書類がある場合，オンラインアドミッションシステムにアップロード，もしくは郵送にて提出してください。英語以外の言語の場合は英訳文を添付してください。 | |
| ix | 国籍及び在留資格を確認できるもの<br>（顔写真，名前（フルネーム），国籍，生年月日を含む公的な証明書） | 国籍及び在留資格を確認できるものを，オンラインアドミッションシステムにアップロードしてください。<br>例えば，パスポートの（写），在日公館の証明書（英語で作成されたものとし，これらの言語以外の場合は英訳文を添付してください。）等です。 | |
| x | 経費支弁者の収入証明書（任意提出） | 本プログラムへ出願した者は G30 奨学生の選考対象者として取り扱いますので，G30 奨学金の支給を希望する者は，経費支弁者の収入証明書をアップロードして提出してください。収入証明書は，最低 1 年間の収入が含まれている必要があります。必ず英語訳も提出してください。<br>なお，G30 奨学金の支給を希望しない場合は提出不要です。 | |

【注】

（１）検定料の支払い，及び出願書類全てを各締切日までに受領した場合に限り，出願を認めます。出願書類を郵送する際は，書留速達郵便又はそれと同等の航空宅配便（例えば，Federal Express, DHL，UPS，等）によって送付することを推奨します。なお，提出された書類等に不備がある場合には，出願を認めません。また，提出後の出願書類の変更は認めません。

（２）発行機関である学校又は当局は，英語以外の言語で作成された全ての書類を英語に翻訳し，原本と同じであることを保証する必要があります。学校又は当局がこれを行わない場合は，外部の翻訳機関に依頼して翻訳・確認された書類を，発行する学校又は当局が同じであることを保証する必要があります。また，翻訳前の元の書類と同等性が保証された翻訳書類の両方を提出してください。

（３）各種証明書において，科目名，成績評価等が符号，略字等により表示されている場合は，説明書を添付してください。

（４）出願書類を郵送する場合は，ホチキス止めをしないで提出してください。

（５）いったん受理した出願書類は，いかなる理由があっても返却しません。

（６）志願票はじめ出願書類に虚偽の記載をした場合，記載すべき事項を記載しなかった場合，又は，提出すべき書類を提出しなかったことが判明した場合は，入学決定後でも入学許可を取り消すことがあります。

（７）出願書類を受け取ったことをシステムのメッセージ機能でお知らせします。もし連絡がない場合は，国際アドミッションオフィス（**X．問い合わせ先**）まで e-mail で知らせてください。

３．障害のある者等の出願

障害のある者等で，受験上特別な配慮を必要とする者は，出願に先立ち，あらかじめ相談してください。（提出書類は英語で作成すること）

（１）相談の時期

平成 28 年（2016 年）12 月 1 日まで

（２）相談先

名古屋大学 国際入試係　国際アドミッションオフィス

（３）相談の方法

以下の３点の書類を提出してください。

1)出願予定のプログラム，志望学部，障害等の状況，受験上の配慮を希望する事項等に志願者本人の連絡先を記載したもの（様式は自由，用紙はＡ４サイズ）

2)障害等に関する医師の診断書又は，ソーシャルワーカーの意見書など。（いずれの場合も写しでも構いません。）又は身体障害者カード等それに準ずるものの写し。

3)出身学校関係者の添え書（学校における修学状況及び学習上の配慮状況等を記載したもので，様式は自由，用紙はＡ４サイズ）

（４）その他

受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までにお問い合わせください。

４．その他

入学試験に関する照会は，照会者本人のメールアドレス，氏名を明記し，国際アドミッションオフィス（**Ｘ．問い合わせ先**）まで連絡してください。

## Ⅵ．選抜方法

１．入学者の選抜は，第 1 次選考及び第 2 次選考により行います。

第 1 次選考は，提出された出願書類により合格者を決定します。

第 1 次選考合格者に対し第 2 次選考として面接（現地，本学又は Skype 等でのインタビュー）を実施し，最終合格者を決定します。なお，第 1 次選考に合格した者は必ず必要書類の原本（＜出願書類＞参照）を指定された期日までに提出する必要があります。

なお，面接では，志願者を総合的に評価するために，志望するプログラムに関係する学問的な質問をすることがあります。

理系プログラムでは，数学及び自然科学分野の試問をすることがあります。数学の試問においては，G30 プログラムの HP 上で公開している「More Videos」の Pre-College Mathematics (Class Materials)（http://ocw.nagoya-u.jp/index.php?lang=en&mode=c&id=516&page_type=index）レベルの試問を行うので，予め視聴し各単元の内容をよく理解しておいてください。

２．第 1 次選考結果は，下記の表の期日にオンラインアドミッションシステムにて発表します。もし，システム上で選考結果を確認できない場合や，第 1 次選考に合格したにも関わらず第２次選考の案内が届かない場合は，国際アドミッションオフィス（**Ｘ.問い合わせ先**）まで連絡してください。

３．第 2 次選考が実施される日時・場所・方法等は，第 1 次選考結果とともにオンラインアドミッションシステムで通知しますので選考結果通知当日に必ず確認してください。実施日は，下記の表の期間内です。

| | １ 次 募 集 | ２ 次 募 集 |
|---|---|---|
| 1 次選考結果通知日 | 平成 29 年（2017 年）2 月 8 日 | 平成 29 年（2017 年）4 月 5 日 |
| 2 次選考期間 | 平成 29 年(2017 年)2 月 21 日-3 月 17 日 | 平成 29 年(2017 年)4 月 14 日-4 月 28 日 |
| 原本提出期限<br>（第 1 次選考合格者のみ） | 平成 29 年(2017 年)3 月 17 日 16:00<br>（日本時間） | 平成 29 年(2017 年)4 月 28 日 16:00<br>（日本時間） |

## Ⅶ. 合格者発表

下記の表の選考結果通知期日に，オンラインアドミッションシステムにて発表します。
また，合格者には，「志願票」に記載された住所宛に合格通知を郵送します。
なお，ウェイトリスト者についても，システム上で別途該当者に通知します。

| 募集区分 | 選考結果通知期日 |
|---|---|
| １次募集 | 平成 29 年（2017 年） 4 月 4 日 |
| ２次募集 | 平成 29 年（2017 年） 5 月 22 日 |

## Ⅷ. 入学手続き

入学手続に関する書類は，合格発表後にオンラインアドミッションシステム上で公開します。

１．入学料の振り込み

入学の権利を得るための入学料（282,000 円）は，オンラインアドミッションシステム上の通知を参照の上，下記の表の日時までに PayPal（推奨）または銀行送金で支払ってください。振込み手数料は振込者負担となります。

なお，合格者のうち名古屋大学 G30 奨学金受給候補者に選ばれた者の入学料の払込期限は，下記払込期限より早めの設定期限となりますので，本学からの通知文書をよく確認し，その指示に従ってください。

| 募集区分 | 払込期限 |
|---|---|
| １次募集 | 平成 29 年（2017 年）5 月 8 日 16:00（日本時間） |
| ２次募集 | 平成 29 年（2017 年）6 月 12 日 16:00（日本時間） |

【注】

（１）所定の期限までに払い込まない場合は，本学への入学を辞退したものとして取り扱いますので，十分注意してください。
入学時までに入学料の改定が行われた場合には，新たな入学料額が適用されます。

（２）納入済みの入学料は返還しません。

（３）いかなる理由でも、入学の権利を次年度に持ち越すことはできません。

２．入学料以外の学生納入金（予定額）

| プログラム名 | 授業料 | 学生教育研究災害傷害保険料<br>(※は学研災付帯賠償責任保険を含む。) |
|---|---|---|
| 自動車工学プログラム，物理系プログラム，化学系プログラム，生物系プログラム | 前期分　267,900 円<br>年　額　535,800 円 | ※4,660 円 |
| 国際社会科学プログラム,「アジアの中の日本文化」プログラム | | 3,300 円 |

【注】

（１）入学時又は在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新たな授業料額が適用されます。

（２）授業料は，入学後に所定の方法により納入してください。

（３）その他，入学に必要な手続の詳細は，入学料納入後，オンラインアドミッションシステム上

で公開される入学手続要領を参照してください。

３．出願時に高等学校を卒業（修了）見込みの志願者に対する注意

出願時に高等学校に相当する学校を卒業（修了）見込みの志願者は，平成 29 年(2017 年)8 月 1 日までに，卒業（修了）証明書や資格証書及び学業成績証明書を.名古屋大学の国際アドミッションオフィスに提出してください。提出が期日に間に合わない場合は，事前に国際アドミッションオフィスまでご連絡下さい。

もし，これらの書類が国際アドミッションオフィスに到着しない場合には，入学する権利が消失します。

## Ⅸ．その他

１．出願後に現住所を変更した者は，速やかに国際アドミッションオフィスまで届け出ること。

２．個人情報については，「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「名古屋大学個人情報保護規程」に基づき，適切に管理します。

３．出願時に得た住所，氏名，生年月日，その他の個人情報については，入学者選抜，合格者発表，入学手続業務を行うために利用します。

４．出願時に得た個人情報内容及び入学者選抜に用いた試験成績は，今後の入学者選抜方法の資料の作成のために利用します。また，入学者についてのみ，教務関係（学籍・修学指導等），学生支援関係（健康管理，就職支援，授業料免除・奨学金申請等），授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

５．募集要項中に記載されている日時は，いずれも日本標準時 JST（UTC+9:00 時間）とします。

## Ⅹ．問い合わせ先

不明な点があれば，下記までご相談ください。

〒464－8601　名古屋市千種区不老町　名古屋大学　国際入試係
国際アドミッションオフィス　（国際開発棟 1 階 105 室）
Tel: 81-52-747-6556　Fax: 81-52-747-6526
E-mail: apply@g30.nagoya-u.ac.jp

参考資料１

**I. 出願資格の１.i.f に該当する日本国内の外国人学校例一覧（平成 27 年 3 月 24 日現在）**

| 学校名 | 所在地 | 認定を受けている評価団体 |
|---|---|---|
| 北海道インターナショナルスクール | 北海道 | WASC |
| 東北インターナショナルスクール | 宮城県 | WASC |
| コロンビア・インターナショナルスクール | 埼玉県 | WASC |
| セント・メリーズ・インターナショナルスクール | 東京都 | WASC，CIS |
| 清泉インターナショナル学園 | 東京都 | CIS |
| 聖心インターナショナルスクール | 東京都 | WASC，CIS |
| アメリカンスクール・イン・ジャパン | 東京都 | WASC |
| クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン | 東京都 | WASC |
| カナディアンインターナショナルスクール | 東京都 | WASC |
| ニューインターナショナルスクールオブジャパン | 東京都 | CIS |
| アオバインターナショナルスクール | 東京都 | CIS |
| サンモール・インターナショナルスクール | 神奈川県 | CIS |
| 横浜インターナショナルスクール | 神奈川県 | CIS |
| ホラインゾンジャパンインターナショナルスクール | 神奈川県 | WASC |
| 名古屋国際学園 | 愛知県 | WASC |
| インターナショナル・クリスチャン・アカデミー名古屋 | 愛知県 | WASC，ACSI |
| 京都インターナショナルユニバーシティーアカデミー | 京都府 | ACSI |
| 関西学院大阪インターナショナルスクール | 大阪府 | WASC |
| カネディアン・アカデミィ | 兵庫県 | WASC，CIS |
| マリストブラザーズインターナショナルスクール | 兵庫県 | WASC |
| 広島インターナショナルスクール | 広島県 | CIS |
| 福岡インターナショナルスクール | 福岡県 | WASC |
| 沖縄クリスチャンスクール・インターナショナル | 沖縄県 | WASC，ACSI |

※上記一覧に記載されていない場合でも、WASC（ウエスタン・アソシエーション・オブ・スクールズ・アンド・カレッジズ），ACSI（アソシエーション・オブ・クリスチャン・スクールズ・インターナショナル），CIS（カウンセル・オブ・インターナショナル・スクールズ）の認定校であれば，出願資格１.i.f.に該当します。
各学校が認定を受けているかどうかについては，下記評価団体にお問い合わせ下さい。
WASC（http://www.acswasc.org/）
ACSI（https://www.acsi.org/）
CIS（http://www.cois.org/）

参考資料 2

**英語出願資格一覧　（P2 出願要件Ⅱ.2）**

| 英語検定試験（English Proficiency Test） | 最低要件<br>（Qualification (Minimum)） |
|---|---|
| TOEFL | iBT 80, CBT 213, PBT 550<br>*TOEIC, TOEFL ITP is not accepted |
| IELTS | Overall Band 6 or higher<br>*no component score lower than 6.0 |
| IGCSE/GCSE/GCE O-Level English<br>First Language<br>Second Language<br><br>GCE AS or A-Level English<br>*Applies to Singapore and Sri Lanka | <br>C and above<br>B and above<br><br>E and above |
| Cambridge English:<br>Advanced (CAE)<br>Proficiency in English (CPE) | <br>C and above<br>Level C1 above |
| IB English B (HL)<br>IB English B (SL)<br>IB English A: Language and Literature (SL or HL)<br>IB English A: Literature (SL or HL)<br>IB English Literature and Performance (SL) | 4 and higher<br>5 and higher<br>4 and higher<br>4 and higher<br>4 and higher |
| SAT Essay before March 2016<br>New SAT | 8 or higher<br>18 or higher |
| American College Board (AP)<br>AP English Language and Composition<br>AP Literature and Composition | 4 or higher |
| ACT English Score | 21 and above |
| SPM English Language 1119 | C and above |
| Malaysian University English Test (MUET) | Band 4 and above<br>(minimum aggregate score: 180-219) |
| TEPS (Korea) | Score of 566 and higher |
| Taiwan<br>General English Proficiency Test (GEPT) | <br>Advanced |
| Australian State or Territory High School Certificate Examination- Grade 12 English | 80% or equivalent |

| | |
|---|---|
| Canadian Grade 12 courses:<br>i. English 4U (Ontario)<br>ii. English 12 (British Columbia, Yukon and Nova Scotia)<br>iii. English Language Arts 30-1 or English 30 (Alberta, NWT, Nunavut)<br>iv. English 40S (Manitoba)<br>v. English A30 and English B30 (Saskatchewan)<br>vi. English 121 or 122 (New Brunswick)<br>vii. English 3201 (Newfoundland and Labrador)<br>viii. Academic English ENG611 or ENG621 (Prince Edward Island) | 70% or equivalent |
| National Qualifications Framework of New Zealand; English - 4 credits must be in Reading and 4 credits must be in Writing. | “Achieved” (A) in a minimum of 8 credits at level 2 or higher<br>*Literacy credits will be selected from a schedule of approved achievement standards and unit standards. |
| Hong Kong<br>i. HKDSE English<br>ii. HKALE Use of English | i. Level 3 and above<br>ii. Grade E |
| Scottish Certificate of Education Standard and High Grade English (UK) | C and above |
| European Baccalaureate (EP Diploma) English | 6.5 and above |
| Common European Framework of Reference for Languages: CEFR | C1 and above |
| Examination for the Certificate of Proficiency in English (ECPE) | PASS and above |

その他上記と同等以上の英語能力があることを証明する成績証明書がある場合は，出願受付開始の１ヶ月前までにアドミッションオフィスに e-mail にて確認してください。

参考資料 3

## プログラム別の推薦者Ａの科目要件

| プログラム | 学部 | 推薦者Ａの<br>科目要件 |
|---|---|---|
| 自動車工学 | 工学部（機械系） | 数学 |
| | | 物理 |
| | 工学部（電気電子情報系） | 数学 |
| | | 物理 |
| 物理系 | 工学部 | 数学 |
| | | 物理 |
| | | 化学 |
| | 理学部 | 数学 |
| | | 物理 |
| 化学系 | 工学部 | 数学 |
| | | 物理 |
| | | 化学 |
| | 理学部 | 数学 |
| | | 物理 |
| | | 化学 |
| | | 生物 |
| 生物系 | 理学部 | 生物 |
| | | 化学 |
| | 農学部 | 生物 |
| | | 化学 |
| 国際社会科学 | 法学部 | 指定なし |
| | 経済学部 | 指定なし |
| アジアの中の日本文化 | 文学部 | 指定なし |

参考資料 4

一般的な大学入学要件に加え，各プログラム別の要件国家試験等の統一試験等の受験推奨科目

| プログラム | 学部 | 国際バカロレア | アメリカ | イギリス | その他 | 日本留学試験（EJU） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 自動車工学プログラム | 工学部 | 数学及び物理又は化学（HL レベル） | AP微積（AB又はBC）及びAP物理（B又はC）又はAP化学 | 数学及び物理又は化学（Aレベル） | 数学及び物理又は化学 | 数学（コース2）及び化学又は物理 |
| 物理系プログラム | 理学部 | 数学及び物理又は化学又は生物（HLレベル） | AP微積（AB又はBC）及びAP物理（B又はC）又はAP化学又はAP生物 | 数学及び物理又は化学又は生物（Aレベル） | 数学及び物理又は化学又は生物 | 数学（コース2）及び化学又は物理又は生物 |
| | 工学部 | 数学及び物理又は化学（HLレベル） | AP微積（AB又はBC）及びAP物理（B又はC）又はAP化学 | 数学及び物理又は化学（Aレベル） | 数学及び物理又は化学 | 数学（コース2）及び化学又は物理 |
| 化学系プログラム | 理学部 | 数学及び物理又は化学又は生物（HLレベル） | AP微積（AB又はBC）及びAP物理（B又はC）又はAP化学又はAP生物 | 数学及び物理又は化学又は生物（Aレベル） | 数学及び物理又は化学又は生物 | 数学（コース2）及び化学又は物理又は生物 |
| | 工学部 | 数学及び物理又は化学（HLレベル） | AP微積（AB又はBC）及びAP物理（B又はC）又はAP化学 | 数学及び物理又は化学（Aレベル） | 数学及び物理又は化学 | 数学（コース2）及び化学又は物理 |
| 生物系プログラム | 理学部<br>農学部 | 生物又は化学（HLレベル） | AP生物又はAP化学 | 生物又は化学（Aレベル） | 生物又は化学 | 数学（コース2）及び生物又は化学 |
| 国際社会科学プログラム | 法学部<br>経済学部 | 募集要項記載の要件の他，科目指定なし | | | | 総合科目及び数学（コース1） |
| 「アジアの中の日本文化」プログラム | 文学部 | | | | | |

# Essay Questions for Applications to Nagoya University International Programs (Undergraduate) Academic Year 2017

## Instructions

- **All applicants must submit two essays.**
- All questions are to be answered by the candidate only. You may be asked about your answers if you are selected for an interview.
- Essay 1 is compulsory for all candidates.
- Essay 2 is also compulsory for all candidates, but you are to answer the question specific to the program you have applied for as your first choice.
- Essay 1 and Essay 2 should each be between 400 and 500 words in length.
- Be sure to indicate the word count written at the bottom of each essay.

1. Essay No. 1 – Answer the following question (400-500 words).

   Please explain why you are applying to a particular program at Nagoya University and how it is related to your academic history and your personal and professional future goals.

2. Essay No. 2 – Answer one of the following questions* (400-500 words).

   *Please choose an essay topic related to your first program choice

**First Choice Program :**
**Automotive Engineering (School of Engineering, Mechanical Engineering Course)**

Describe any static or dynamic physical phenomenon that can be observed in a specific part of any vehicle, or the vehicle as a whole, and its related laws of physics. Explain any technical innovations related to this phenomenon that might be introduced to future vehicles.

**First Choice Program :**
**Automotive Engineering (School of Engineering, Electrical, Electronic, Information Engineering Course)**

What topic in the field of Engineering excites you the most?
Elaborate on the reasons for your answer.

**First Choice Program : Fundamental and Applied Physics (School of Engineering)**

Describe the most influential new idea, discovery or technological achievement in the past 20 years related to the subject you intend to study at Nagoya University and explain why.

**First Choice Program : Fundamental and Applied Physics (School of Science)**

What do you consider to be the most important scientific or technological achievement related to physics or mathematics in the last hundred years? Describe it and explain why it is important. If it is a technological achievement, describe the physics or mathematics that enable it to work.

**First Choice Program : Chemistry (School of Engineering)**

Name and briefly explain the important discovery in the field of Chemistry over the past 50 years. Discuss its positive and negative impacts on society.

**First Choice Program : Chemistry (School of Science)**

Describe a laboratory course that you had in high school and what you learned from it.
If you never experienced an entire laboratory course, describe an experiment that you performed instead.

**First Choice Program : Biological Science (School of Science)**

What is the most important biological question that scientists should address in the next decade? Please describe your opinion and the reason(s) why you think so.

**First Choice Program : Biological Science (School of Agricultural Sciences)**

How can science and technology help to make our society more sustainable in terms of agriculture, food, or environmental issues?

**First Choice Program : Social Sciences (School of Law)**

Consider the following definitions of "justice:"

* Justice means following the rules
* Justice means being fair

Discuss the tension between these definitions, drawing on past readings and personal experience to illustrate your answer.

**First Choice Program : Social Sciences (School of Economics)**

Identify specific areas of study you wish to pursue in the School of Economics at Nagoya University and tell us how those subjects will help you meet your academic and professional goals.

**First Choice Program : Japan-in-Asia Cultural Studies Program (School of Letters)**

Imagine we had no records about the past at all, except everything to do with film and/ or literature – how much of the past could we find out about?